

## 「仮の町」に必要な機能について（論点）

### 【今後の審議の進め方について（平成24年10月16日第3回委員会）】

- ・「仮の町」はどのような町が望ましいか（例：放射線の安全性、交通の利便性、職場の近接性、気候風土の類似性、学校・公民館等公共施設）

集中型、分散型のいずれの場合にあっても、

1. 「仮の町」の場所の選定に当たって重視すべき条件には、どのようなものがあるか

例えば、空間放射線量の程度、気候風土の類似性、交通の利便性といったことをどの程度考慮すべきか

### 【生活再建部会資料 3：航空機モニタリングの結果（地表面から 1 m 高さの空間線量率）】

2. 双葉町に存在した都市機能を振り返って、「仮の町」には最低限そろっていないなければならない機能、そろっていることが望ましい機能は、それぞれどのようなものか

### 【生活再建部会資料 4：双葉町に存在していた都市機能】

3. 「仮の町」における住環境はどのようなものがよいか

### 【生活再建部会資料 5：災害公営住宅のイメージ】

4. 「仮の町」において、生業を再開し、雇用を創出していくためには、どのような支援が必要か

### 【生活再建部会資料 6：双葉町の産業別就業者数と農業者数】

### 【生活再建部会資料 7：双葉町の産業の復興状況】

### 【生活再建部会資料 8：「7000 人の復興会議」における「仮の町」に求める機能に関する町民の意見・提案（例示）】